

寺社を巡る会

活動記録書

<p>開催日： 令和4年7月7日(木) 「曇り」のち「晴れ」</p>	<p>開催テーマ：『ゆったりと鎌倉・再発見』PART II 「畠山・和田・安達ゆかりの地を歩く」</p>
<p>開催場所：鎌倉市</p>	<p>記入者：松崎 寛</p>
<p>参加人数： 会 員 24名、準会員、2名、ビジター 2名 合 計 28名</p>	
<p>実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題など）： コース：鎌倉駅西口～琵琶橋～浜の大鳥居跡～一の鳥居～畠山重保墓～和田塚 ～甘縄神明神社（安達盛長邸跡）（解散）</p> <p>台風を心配したが熱帯低気圧となり、曇り空のなかで、むしろ街歩きには適した天気となった。出発前に鎌倉ガイド協会から、「旧ソヴィエト連邦領事館跡を通る。そこは、ソヴィエト連邦崩壊のとき、海外資産はすべてロシアが引き継ぐことに、ウクライナが反対したため、ロシアへの名義の変更登記が出来ていない。うかつなことを言うと外交問題となるので、現地では、話ができない」と、重々しく出発前に話しがあつた。そんな問題があると初めて知った。</p> <p>その後、鎌倉駅西口時計台広場から御成通りに行く。早速に、横道の奥の建物は、最近鎌倉に増えたIT企業の従業員の共同食堂との説明があり。地元のガイドさんならではの情報だった。</p> <p>若宮大路の「下馬」の交差点に着く。下馬は文字通り馬を下りるところ。若宮大路を横切るときも、馬を下りなくてはいけないため、昔は、上、中、下の下馬があり、ここは下の下馬。</p> <p>次は、若宮大路の歩道にある「琵琶橋」。もともと弁財天があり、その持っていた琵琶から、あるいは曲がって道が琵琶に似ていた等から、二の鳥居から一の鳥居までを「琵琶小路」と呼んでいた。</p> <p>若宮大路をさらに海にむかっていくと「浜の大鳥居跡」がある。平成2年（1990）に、芯とその周りに木を寄せ集めた直径1.6m程の柱の根元が発見された。天文23年（1554）、小田原北条氏の氏綱の時代にできたようである。寄木造りの鳥居があることは、私にとって新しい発見だった。</p> <p>さらに海よりに、「一の鳥居」がある。今の鳥居は、二代将軍徳川秀忠夫人の崇源院の発願により、孫の四代将軍徳川家綱が寛文8年（1668）に完成させ、寄進した。高さ8.5m、鳥居の一番上の横石の長さが約13mある。関東大震災のときに倒れたが、昭和12年（1937）修復。</p> <p>一の鳥居のそばに、鎌倉時代の武将「畠山六郎重保の墓」と伝えられている宝篋印塔がある。明徳四年（1393）と刻まれ、高さが3.4mもある。畠山重忠と息子の重保が殺された「畠山重忠の乱」の要因は3つとガイドさんの説明。「北条時政と牧の方の息子・政範が京で急死したことについて重保に責任があると牧の方が一方的に敵視。時政の女婿である平賀朝雅が京で酒宴の場で重保と口論。時政は武蔵の国の掌握を狙い、有力武将である畠山氏を滅ぼし北条氏が取って変わると言う意図。」</p> <p>「旧ソヴィエト連邦領事館跡」の脇を通った。かなり広い敷地に、ひっそりと建物が建っていた。</p> <p>和田塚の前の道は、明治25年（1892）海水浴のお客目当てに地元の人が道路整備したもの。その時、埴輪や土器の破片、多数の人骨が掘り出された。人骨は和田合戦で敗れた和田義盛一族のものと言われ「和田一族戦没地」の碑があるが、直接は関係無いようである。この辺りは古墳群が存在していたようだ。和田義盛は、建保元年（1213）北条氏の挑発にのり拳兵、戦に破れ一族は滅亡。</p> <p>和田塚の前の「鎌倉彫工芸館」で見学、トイレ休憩。若宮大路沿いの「鎌倉彫会館」とは、組合が違うそうだ。この頃に、天気が回復し、暑くなってきた。</p> <p>最後に、「安達盛長邸址」といわれる甘縄神明神社に着く。奈良時代に、豪族の染谷太郎太夫時忠が建てた鎌倉で一番古い神社。「北条時宗公産湯の井」がある。時宗は安達の娘を母としていることから生まれた伝説であろう。安達一族は「霜月騒動」によって滅びる。なお、安達盛長邸の場所はここではなく、鎌倉歴史文化交流館が建つ一帯であったという説が最近は有力である、とのこと。</p> <p>甘縄神明神社で解散、そのあと裏道を通り、長谷駅へ。</p>	
<p>参加者の状況・意見など： 今回は畠山・和田・安達のゆかりの地を歩いた。畠山重忠・重保については、釜利谷では東光禅寺を中心に伝説が多い。六浦の大道小学校脇の谷戸は和田の館跡ではないかと言われている。安達泰盛の女婿金沢頭時は、「霜月騒動」で失脚。いずれも金沢と縁がある人々である。金沢が鎌倉の一部として繋がっている、と改めて感じた。</p>	
<p>次回の予定： 令和4年9月1日(木) 10時 光明寺バス停 テーマ「文覚上人・三浦義明を偲ぶ」</p>	